

先週の説教要旨

『上のものに属しなさい』井上隆晶牧師
イザヤ 65 : 1~5、ヨハネ 8 : 21~25

❶【イエス様はやがて去ってゆかれる】
イエス様はユダヤ人たちに「わたしは去ってゆく。あなたたちはわたしを捜すだろう。だが、あなたたちは自分の罪の内に死ぬことになる。わたしの行く所に、あなたたちは来ることができない。」(ヨハネ 8 : 21) と言われました。ユダヤ人は地上でせつかく神を目の前で会っているのにそれを無駄にしてしまいました。光が去れば闇が支配し、命が去れば死が支配し、知恵が去れば無知が支配し、神が去れば悪魔が支配します。イエス様が近くにいた間に、救いを確かにしなければなりません。恵みはいつまでもあるわけではないのです。人間は本物が目の前にいても、求めることはしないのです。結構、偽物で間に合っているからです。本物であるかどうかあまり関係ないのです。それを見分ける力もないからです。ああ、何と人間は見えなくなったのでしょうか。これが罪の症状なのです。

❷【この世に属すると死ぬ】「あなたたちは下のものに属しているが、わたしは上のものに属している。あなたたちはこの世に属しているが、わたしはこの世に属していない。だから、あなたたちは自分の罪のうちに死ぬことになる、わたしは言ったのである。」(8 : 23~24) イエス様は「上のもの」、すなわち「神の国」に属していますが、ユダヤ人たちは「下のもの」、すなわち「この世」に属しています。だから彼らは自分の罪のうちに死ぬとイエス様は言われました。上のものに属さない限り、あなたは死ぬと言われたのです。この世とは何でしょう。この世は、神のいない世界です。最近、つくづくそう感

じるようになりました。人間はこの世から神を追い出したのです。人間だけの世界、すべてを神抜きで考えようとする世界です。人間がこの世界を支配し、自分の思い通りに資源を使い、神に聞くことなく、自分で判断を下し、神の裁きを待たないで自分で裁きます。神を恐れることもありません。神から離れた世界は死んだ世界なのです。地上には人の罪が溢れています。罪のあるところに死は存在しますから、この世は死が溢れている世界なのです。命は天から降ります。神だけが命を持っているからです。この命こそキリストです。この命に結ばれて生きる人は死から命に引き上げられるのです。

❸【わたしはあるということを信じなければ死ぬ】「わたしはあるということを信じないならば、あなたたちは自分の罪のうちに死ぬことになる。」(8 : 24) と主はユダヤ人に言われました。自分の罪のうちに死ぬと言われたのはこれで三度目です。「わたしはある」というのは、モーセに現れた神の名前です。モーセが神の名を尋ねたとき、主は「わたしはある。わたしはあるという者だ。」(出エジプト 3 : 14) と答えられました。この神だけが使う名前をイエス様はご自分に対して使われたのです。「はっきり言うておく。アブラハムが生まれる前から『わたしはある。』」(ヨハネ 8 : 58) 「人の子を上げたときに、初めて、『わたしはある』ということが分かる」(ヨハネ 8 : 28) 教会はイエス様の頭の後ろに十字架を書き、その中にこの「わたしはある」という言葉の頭文字「I, W, V」を入れることによって、キリストは神であることを表したのです。隠れていた神は、今イエス・キリストという姿で現れたのです。ここでイエス様はユダヤ人に「私が神であるということを信じなければ、あなたがたは死ぬ」と言われたのです。
↑

週報

日本キリスト教団 都島教会

伝道所設立 1957 年 12 月 1 日 教会設立 2001 年 12 月 2 日
〒534-0012 大阪市都島区御幸町 2-6-17

TEL06-6922-1120 FAX06-6922-1120

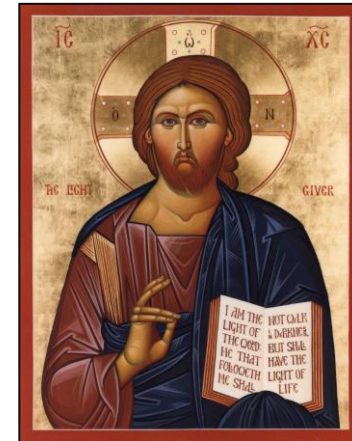
E メールアドレス : miyakoch@eagle.ocn.ne.jp

ホームページアドレス : <https://miyakojima-church1.com>

郵便振替 00920-4-1442 日本基督教団都島伝道所

主任牧師 井上 隆 晶

2025年11月9日 No.1845



《世の光であるキリスト》

都島教会の 2025 年度の宣教方針

標語 《会堂建築の準備をしよう》

聖句 「主御自身が建ててくださるのでなければ、家を建てる人の労苦はむなしい。」(詩編 127 : 1)

2025 年度の目標

- 1 毎週礼拝を守り、礼拝出席平均 28 名を目指します。
- 2 一年間に一人を礼拝にお誘いします。
- 3 信徒の交わりを大切にします。
- 4 会堂建築のための具体的な準備を進めます。